事業所名グループホーム仙遊荘作成日平成22年4月17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん揚げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、

優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達	成計画】				
優先	項目	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な	目標達成に
順位	番号	Supricatory Strikes in the second	FI 155	取り組み内容	要する期間
·		グループホームの理念『和顔・	① 年間、月間計画を結びつ	① 理念の実践に向けて今年	① 1か月
		愛語』と法人全体の『敬愛・誠	く内容に修正し、毎月、	度の方針を立てる。	
		実・奉仕』の理念に対して、グ	目標達成度を確認する。	② ①を基に月間計画を立案	② 1か月
		ループホームの年間計画と月	② 計画の実践が不十分の内	する。	
1	1	間計画の連動性がない。	容は再検討すると共に、	③ 運営推進会議で協議す	③ 1か月
1	1		運営推進会議にて検討し	る。	
			達成させていく。	④ 月間計画の達成度を毎月	
				カンファレンスにて職員	④ 12ヶ月
				全員で確認する。(③と④	
		·		を繰り返していく。)	
2		運営推進会議に地域の抱える	① 市内の認知症サポーター	① 認知症サポーターの話し	① 12 か月
	4	課題の協議がされていないた	と共同して地域の中で認	合いや勉強会の場に参加	
		め、地域に向けた活動の取り組	知症の方と向き合い活動	し、活動を共に考え共に	

	みができていない。 運営推進会議が利用者のサービスの実際や評価、取り組み等 サービス向上に繋がる話し合いを行う場として活かされていない。	し地域福祉向上、地域貢献を目指す。 ② ケアプランにおいて達成されない内容について、運営推進会議にて取り上げ、地域で達成できる関係作りを目指す。 ③ 運営推進会議では、地域で抱えている問題を取り上げ、十分に協議する。	行っていく。活動内容を 地域で抱えている。 選性進会議にて協議してアプロを でからされてはかりないでででででででででででででででででででででででででででででででででいる。 ③ 認知には、一つでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	② 12 か月③ 3 か月④ 12 か月
3 6	建物のすぐ前が道路であるため、危険性を考え玄関施錠が一日の中でほとんどされている。	① 玄関施錠が24時間必要 か否かを検討し、レクの 時間など利用者の状況を 判断し、24時間の中で解 錠する時間を作ってい く。 ② 少しずつ解錠時間を長く する。	 レクの時間、食事の時間 等利用者の心身の状況を 見ながら可能な限り解錠 を試みる。 心身の状況をアセスメン トする中で、施錠が必要 な方についてはケアプラ ン2表に施錠の同意をい 	① 12 か月② 3 か月

ì

•

			(4) P. (4	ただく。	
		利用者が重度化した場合の受	① グループホームで重度化	① 重度化した場合、看取り	① 2か月
		け入れ体制が整備できていな	した場合、支援可能な体	の希望があった場合の指	
		い。看取りに関する指標がな	制の整備を行い、看取り	標を作成する。	
4	33	い。職員研修も行えていない。	に関する指標を作成す	② 重要事項説明書に記載し	② 3か月
		,	る。	説明と同意をいただく。	
			② ターミナルケア研修に参	③ ターミナルケアの職員研	③ 12 か月
			加し知識向上を目指す。	修を行う。	
		地域住民参加による避難訓練	① 地域で災害対策(火災時)	① 運営推進会議で必要性を	① 1か月
		が行えていない。	の協力体制を構築する。	説明し協力を呼びかけ	
			地域を含めた緊急連絡網	る。	
			を作成する。	② 法人全体で行う年2回の	② 6カ4月
				火災避難訓練の1回はグ	
				ループホームを出火場所	
5	35			に設定し、運営推進会議	
				のメンバーや地域住民と	
				訓練を実施する。	
				③ 訓練の評価を運営推進会	③ 9か月
	•			議で行い課題を協議す	
				る。	
				④ 地域を含めた緊急連絡網	④ 12 カュ月
				を作成する。	

f